

錆穴、欠損を溶接無しで補修・補強!

配管補強パワー66

プラント、工場などの火気厳禁の現場でも補修可能 優れた防錆力で錆の進行を抑える

錆穴や欠損箇所を頑強な塗膜で抑え込むことで、溶接無しでも補修・補強が可能に。

防錆力にも優れ、錆の進行を長期間抑えます。

プラントや工場など火気厳禁の現場でも、容易に補修することができます。



色調 グレー

目的 錆穴、欠損箇所の補修・補強

用途 ・配管、鉄骨階段、折半屋根など鉄部の錆穴
欠損部の補修・補強
・補修箇所の防錆

容量 750gセット(主剤 500g/ 硬化剤 250g)

塗布面積 約1㎡ (750g/㎡ ※乾燥膜厚 500μm)

※塗布面積は目安です。被塗物、作業方法などで異なります。

上塗りまでの乾燥時間 16時間以上

※乾燥時間は、気温 20℃・湿度 60%の環境下での目安です。気温・湿度・躯体の表面温度により異なる場合があります。

使用方法

- ① 浮き錆や不活性塗膜は除去し、3種ケレン以上のケレンを行ってください。
- ② 被塗面のダスト類を除去し、油分や汚れを除去してください。
海水・酸・アルカリなどで汚染されている場合には、清水洗浄を行ってください。
- ③ 混合前に主剤・硬化剤をそれぞれ、ヘラや攪拌機などで粘度が均一になるまで攪拌してください。
- ④ 主剤と硬化剤を2:1(重量比)の割合で混合し、3～5分程度よく混ぜ合わせてください。
- ⑤ 補修箇所にあわせてカットしたガラスクロス※をビニールシートに乗せ、ヘラ・刷毛・ローラーで網目が隠れるまで【配管補強パワー66】を塗布します。
- ⑥ 補修箇所にガラスクロスを貼り付けビニールシートのみ剥がし、ヘラ・刷毛・ローラーで網目が隠れるまで【配管補強パワー66】を再度塗布します。
- ⑦ 使用後すぐに、容器・工具類をラッカーシンナーで洗浄してください。
- ⑧ 16時間以上乾燥させてください。
※乾燥時間は、気温・湿度・躯体の表面温度で異なります。状況に合わせて調整してください。
- ⑨ 上塗りをする際は、使用する上塗り塗料の仕様に従って塗装してください。
※ガラスクロスは別途ご用意ください。

注意点

- 【配管補強パワー66】は、屋外及び日光にさらした場合、黄変、色あせ、チョーキングが起きる事があります。
- 低温時や硬化反応中に塗膜表面に結露・湿気が加わると、ブラッシング現象を起こす事があります。
- 硬化剤混入後、通常はすぐに使用できますが、低温時(10℃以下)には、30分程度度熟成時間を取り使用してください。
- 上塗りは、一度に厚塗りをしないでください。
- 使用後はしっかり蓋をし、1～2ヶ月の間に使い切るようにしてください。

- 特長**
1. 頑強な塗膜で錆穴や欠損箇所を補修し補強
 2. 溶接無しで補修できる新工法
 3. 火気厳禁の現場でも補修可能
 4. 防錆力に優れ長期間錆を抑える

■配管補強パワー 66 標準仕様

工程	塗料・塗布量・塗装方法
1. 素地調整	塗装面の汚れ(サビ、油、水分、ホコリ)を溶剤、サンドペーパーなどで除去
2. 補修	補修箇所に合わせてカットしたガラスクロスに配管補強パワー 66 を塗布 補修箇所にガラスクロスを貼り、その上から配管補強パワー 66 を塗布 (ヘラ・刷毛・ローラー)
3. 乾燥	16時間(気温 20℃・湿度 60%の環境下)
4. 上塗り	使用する上塗り塗料の仕様に従って塗布

■性状

項目	性状
容器内の性状	主剤：グレー色液体
	硬化剤：ベージュ色液体
主剤・硬化剤混合比	主剤：硬化剤=2：1(重量比)
標準塗布量	750g/m ²
作業性	ヘラ・刷毛・ローラー
ポットライフ	1~2時間(気温 20℃・湿度 60%の環境下)
指触乾燥時間	5~6時間(気温 20℃・湿度 60%の環境下)
上塗り可能時間	16時間(気温 20℃・湿度 60%の環境下)
貯蔵安定性	12ヶ月間異常なし(気温 20℃・湿度 60%の環境下)

■塗膜性能試験データ

項目	試験内容	結果
付着性	11.3N/mm ²	JIS K 5600-5-7 プルオフ法 プラスト鋼板
曲げ強度	66.6N/mm ²	JIS A 1106 (材齢 7 日)
圧縮強さ	90.4N/mm ²	JIS K 7181 (材齢 7 日)
引張り強さ	72.8N/mm ²	JIS K 7161-1 (材齢 7 日)
塩水噴霧試験	さび、膨れ、剥がれ 割れを認めない	JIS K 5600-7-1 6,000 時間 一般部
耐衝撃性	異常なし	JIS K 5600-5-3 1kg 鋼球 高さ 1m 10 回以上
耐摩耗性	21mg	JIS K 7204 摩耗輪 CS-17、1kg 荷重、1,000 回転
耐揮発油性	異常なし	JIS K 5600-6-1 試験用揮発油 1 号及び 2 号にそれぞれ 24 時間浸漬
耐液体性試験 酸性	異常なし	JIS K 5600-6-1 5%硝酸溶液 480 時間浸漬
耐液体性試験 アルカリ性	異常なし	JIS K 5600-6-1 5%水酸化ナトリウム溶液 480 時間浸漬

※試験の塗布量は標準的に使用する量で行っています。
実際の作業は、必要に応じ所定の塗布量・膜厚になるよう調整してください。

■塗布可能な被塗面

塗装可能な被塗物	密着性
錆面	○
亜鉛メッキ面	○
溶融亜鉛処理鋼材	○
アルミ	○
ステンレス	○
旧塗膜(活性塗膜)	○
コンクリート面	○

■適正な上塗り

塗装可能な被塗物	密着性
2液アクリルウレタン	◎
2液ポリウレタン	◎
速乾性アクリルウレタン	◎
2液弱溶性ウレタン	◎
2液型フッ素樹脂塗料	◎
1液型エポキシ塗料	◎
2液反応硬化型エポキシ塗料	◎
2液型シリコン樹脂塗料	○
1液弱溶剤ウレタン	○

※カタログに記載されている内容及び仕様は、予告なく変更する場合があります。

【販売元】

【製造元】

再生・延命化への技術革新 — 鉄、コンクリート…

株式会社 染めQテクノロジー

〒306-0313 茨城県猿島郡五霞町元栗橋5971番地

TEL.0280-80-0005 代 FAX.0280-80-0006 代

E-mail:support@somayq.com http://www.somayq.com